

私が「原子力発電」に反対する理由

1. 今言う「原子力」発電は、原理からして使うべきでないエネルギー

すこし長くなりますが、そもそものエネルギーの元から

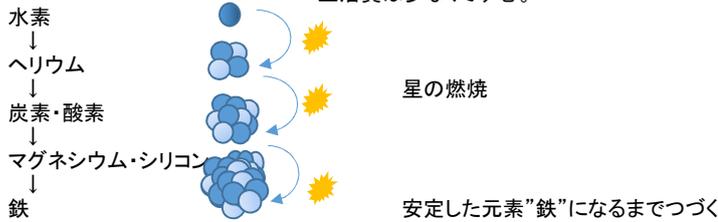
137億年前 宇宙の誕生・・・ ビッグバン

最初にできた物質(元素)は水素とヘリウムだけ



重力で物質があつまり星ができる
星の中の強い圧力で、原子が押しこめられ、くっついていく
くっつく安定し、余分なエネルギーを放出する。

※一人暮らしより2人、、、家族が多くなると一人当たりの生活費は少なくてすむ。



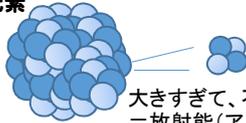
※鉄が限界(陽子26個)
これ以上大きくしようとすると、逆に余分なエネルギーがいるようになる。

燃える元素がなくなった段階で、星はつぶれ、大きな星は反動で大爆発
星の中に蓄えられた物質を宇宙にばらまく
爆発の過程で、原子がぶつかりあい、鉄より大きな物質も作られる・・・ ~ 一番大きいのがウラン
超新星爆発、中性子星の合体、ブラックホールなどの活動でできた物質が宇宙に広がる・・・100億年前

宇宙に散らばった物質から、新たな星が生まれる。
45億年前 (宇宙ができて92億年後) 太陽系が誕生

つまり ウランなど (鉄より重い物質は全部だが・・・)は太陽が生まれる前の星の爆発の名残。
今後太陽系では作られないことのない物質。

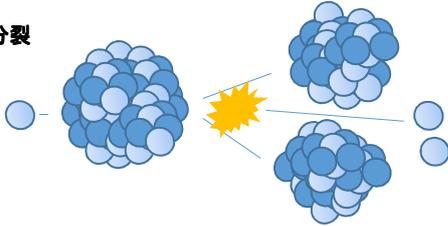
放射性元素



大きすぎて、不安定なので、ときどきその一部を吐き出して別の元素に変わる。
=放射能(アルファ粒子、電子、協力的な電磁波)
鉛など安定的な物質になるまで崩壊を続ける。

ウランも不安定な物質(放射性元素)だが自然崩壊には長い時間がかかる(半減期45億年)
ため、次世代の星に引き継がれる。
ゆっくりと崩壊することで、地球の中の熱源にも・・・ 地熱の半分は崩壊熱

核分裂



ウランなど重たい物質は、中性子の衝突などでバランスが一気に崩れ分裂することがある。
一定の量をまとめておくと、出てきた中性子が次の分裂を起こす・・・連鎖反応
そのとき、膨大なエネルギーを放出する・・・核爆発、原子炉
分裂の結果、あらたな放射性物質(ヨウ素、セシウムなど)が一機に作られ、つぎつぎと崩壊していく。
→ 余分な熱、放射線の発生 100万年

※人間の寿命からするととんでもなく長い時間だが
ウランのそもそもの寿命からすると、短い時間で崩壊 → 危険な物質に

まとめ

- ・地球上にあるウランは限られている。かつ、絶対に再生しない
- ・無理に分裂させれば、一時的なエネルギーは得られるが、危険な残存物を残してしまう。
- ・今後のエネルギー資源として使うべきでない

私見

- ・「原子力」には反対ではないが、使っていいのは2つ
- ①自然崩壊によるエネルギー＝地熱。(原子力電池)
- ②核融合